

市民説明会 質疑要旨

■開催日時

令和7年1月19日（日）

第1回：午前10時

第2回：午後2時

■参加者数

約321人

第1回：約186人

第2回：約135人

■質問者数

22人

第1回：12人

第2回：10人

■質問・意見総数

39件

第1回：21件

第2回：18件

※同一の方からの複数にわたる質問・意見については分類ごとに配置しています。

※質問・意見については、その趣旨を損なわない範囲で要約、補足等をしている場合があります。

■質問・意見の内訳

項目	件数
これまでの経緯	0件
コンセプト	1件
飲食・物販コンテンツ	1件
農産物直売所の差別化	4件
子育て支援機能	3件
施設レイアウト	5件
需要予測	2件
収支計画	4件
概算事業費	3件
スケジュール	0件
全体を通しての意見	11件
その他の意見	5件
合計	39件

No	質問・意見	回答
コンセプト		
1	ひまわり畑や木内酒造、地元でチャレンジしている農家がいると思うが、そういうところが那珂市の資産だと思うので、もう少し那珂市の魅力というものを自分たちで掘り返して、コンセプトに入れてもらえれば良いと思う	既存の資源を活かすべきという点は、その通りだと考えている 市としても、まずは、既存の商品のブラッシュアップに取り組んでおり、今回の特産品の開発に向けては、カボチャ、サツマイモを柱として進めている その先の展開については、これから道の駅が出来てさらに成長していく中で取り組んでいきたいと考えている
飲食・物販コンテンツ		
2	商品開発に向けた市の支援として、補助金等はどうなっているのか？	市としては、うまいもん会議の推進、商品開発に対する補助金を設立している 新たな商品開発や既存商品のブラッシュアップに使える補助金を昨年度から用意している
農産物直売所の差別化		
3	どのくらいの出荷者を見込んでいるのか？不足する場合の対応は？	出荷者組合設立準備委員会を設置して検討を行っている 開業当初から全て那珂市産で賄うことは難しいと考えている はじめは6割程度を市内の生産者で、4割程度は市場からの仕入れで対応していく予定 これを徐々に増やしていきながら、那珂市産の割合を高めていきたいと考えている
4	不足する場合には、どの程度の範囲で生産者を募っていくのか？	出荷意向のある生産者を募っていくことになるが、足らない場合には近隣の市町村へ声掛けしていくことになる
5	有機農業の話もあったが、那珂市は先進的な取り組みがされていないと認識している 市役所がいくらやっても、生産者がその気にならなければ駄目なので、どのように機運を醸成していくのが課題だと考えている	道の駅の直売所は、売上において大きな割合を占める重要な機能となっている そのため、出荷者組合設立準備委員会を先立って設置している 委員会の中でも、有機栽培という言葉が出てきている 今後も委員会をもって機運の醸成を図っていききたいと考えている
6	見たことのないような野菜や地元の貴重な農産物が買える道の駅であって欲しい	ご意見として承る
子育て支援機能		
7	地域の子育て支援拠点としての役割を担うということで、このサイズの全天候プレイゾーンは大変な混雑が予想される 予約制や有料化などの利便性の良い施設を望む	日立市のハレニコでは時間制でやっている 道の駅ふくしまには同規模の施設があるが、予約制でやっている 先進事例を調査した上で、こういった運営が良いのか、検討していきたい
8	全天候プレイゾーンがあれば、利便性も高まるし、那珂市には何も無いと言われるよりは、少しでもこういった設備ができれば、市民としては良いと思う	ご意見として承る
9	茨城県ではナンバー1と言えるような、立派なコンビネーション遊具を設置して、子供たちを遊ばせるべき	ご意見として承る
施設レイアウト		
10	今までの田んぼとしての保水機能はどうなるのか？ 調整池の設置などの対応について教えて欲しい	排水については、現在、建設予定地の真ん中あたりに排水路が通っているが、これを外周道路に沿って敷設する予定となっている 南側に貯留槽を設置し、北側には砕石層を置き排水していく 排水に関しては、那珂川土地改良区と協議を行っている

No	質問・意見	回答
11	水害対策について、今のバードラインと比べて、高さはどのくらいで検討しているのか教えて欲しい	高さについては、現況の地形を活かして、今回のゾーニングは考えられている 水害ということについては、南側の駐車場には貯留槽を設け、北側の駐車場には、なるべくお金をかけないように砕石層を設けることで、排水路への放流を行っていく計画となっている
12	汚水については、下水に接続するのか？敷地内で処理するのか？	汚水については、大規模な施設となるため、浄化槽による処理は難しい状況となっている 県の下水道管に接続する予定
13	建築家のデザインに対して、市として意見を出しているのか？ 建物の外観を見ると、山みtainな感じはしているが、ハリポテのような印象がある 平原なのが那珂市の良いところなので、山をつくらなくてもいいのでは？	建築に関しては、人それぞれ見方が違っているのは承知している デザインについては、第三セクター設立準備委員会や市民代表を含めた建設準備委員会にも諮っているが、その中では、指摘されるような意見はなかった
14	高速道路に隣接することから、支援物資の輸送など、防災拠点としての機能が発揮されることを期待している 現時点では、どのような役割、機能を果たすのか教えて欲しい	道の駅については、インターチェンジ周辺ということもあるので、広域的な支援を行っていくことになる 大型駐車場は2,500㎡以上の面積がとれるので、ヘリポートとしての役割を担うことができる また、一時避難所という扱いになるので、418台という一般の駐車場の台数の3日分に相当する食料、水を確保し、無停電化というものも考えている
需要予測		
15	需要予測の利用者数95万人の根拠は？トイレだけの利用も含まれるのか？	利用者数の推計については、確立した算出方法が無いことから、ほとんどの道の駅では、緩やかな相関関係があるとされる前面道路の交通量から算出している 一般的には、交通量に立ち寄り率を乗じて算出している トイレのみの利用者も含めた場合には、算出された利用者数の約1.4倍になることが、各道の駅の実績としてあげられている ほとんどの道の駅が、今回と同じ算出方法を用いており、他の道の駅でも算出された予測値に対して、実績が上回っていることから、信憑性のある数字だと考えている また、商圈による分析も実施し、妥当性を検証している
16	今回の需要予測に用いられた手法の信頼性について、これまでに、この手法により予測された数値と実績についてのデータはあるのか？	道の駅を整備するにあたって、確立された需要予測の手法はない状況にある 各道の駅についても、前面の交通量から立ち寄り率によって需要予測を行っている 事例については、近隣の道の駅、近年に出来た道の駅について調査を実施した 同じように前面の交通量から算出されている道の駅から事例の調査を行っている その結果、需要予測に対して、全ての道の駅が実績で上回っている 今回は商圈という観点からも分析を行っており、約10億円という売上が見込めるということで、今回の需要予測の数値は妥当性があるものと考えている
収支計画		
17	東海村で1番売上のある直売所の金額を超えているが、9億円以上の根拠は？	9.6億円は直売部門以外の部門も含めた全体の売上となっている
18	道の駅が全国に300箇所近くあると聞いている その8割が赤字だと聞いているが、いかがか？	道の駅は全国で1,222だったかと思う その8割が赤字ということについては、市で持っている情報とは違う 近隣の道の駅に関しては、ほぼ黒字状態になっている状況である

No	質問・意見	回答
19	負の遺産になりかねないのではないか？市長はどうやって責任をとるのか？	そういった意見があることも十分に踏まえて、事務局では成功事例も含めて様々なデータを集めて取り組んでいる
20	赤字、黒字の話があったが、全く垂れ流しということは、まずいことであるが、赤字か黒字かだけで判断しては間違いではないかと考えている	ご意見として承る
概算事業費		
21-22	合併特例債について、詳しく教えて欲しい	自治体の合併後に発行できる特別な地方債で、償還金の70%を国が交付税措置で負担する通常の地方債と比較して財政負担が軽くなる 令和11年度までの事業費について対象になるものであり、スケジュールとしては余裕がなくなっている
23	整備費用の負担割合はどのようになっているのか？ 道路交通に関する施設は、国土交通省が主体的に責任を持って整備するべきである 国や県の補助額についても増額が可能であれば、それなりの負担をしていただく努力もお願いしたい	これまで地方創生推進交付金と言われていたものが、デジタル田園都市国家構想交付金に変わり、またさらに、新しい地方経済・生活環境創生交付金というものになっている これが、今まで5億円が上限だったものが、新しい補助金に変わったことで10億円が上限になっている また、国交省からの社会資本整備総合交付金については、前面の交通量によって、交付金の額が決まってくるもので、0.3億円 県道那珂インター線の交通量に見合う分の県整備分が0.1億円 トイレや情報発信施設は、国からの補助の対象になり得るが、道路区域になければ補助の対象にならないので、敷地の道路側にトイレや情報発信施設を設ける必要がある そのため、今回は、道路側に設けて、どちらにも設けるということになると、費用負担が大きくなってしまうので、情報発信施設やトイレは一体的な整備で中につくっている
全体を通して		
24	植物園がリニューアルされ、その他にも白鳥、八重桜、ひまわりフェスティバルなどの観光資源のPRはどのように考えているのか？	市のPRブースを南棟1階に配置予定となっている 県北のゲートウェイとなることを踏まえた案内等の展開を考えている
25	道の駅には、周辺の観光ルート案内するパンフレット等が置かれているが、個人や企業が宣伝等のポスターを掲示することは可能か？ 那珂市のお店の紹介などができれば、道の駅の来訪者に対して、市内を回遊するためのきっかけを提供できると思う	道の駅のコンセプトもあるので、そういったポスターの掲示については、今後、第三セクターの中での協議になってくる
26	周辺の道路にはガソリンスタンドが見当たらないので、ガソリンスタンドを設けて、土地の有効活用を図って欲しい	ガソリンスタンドについては、交通量が増えてくれば、民間事業者において、整備に向けた意向が高まってくると考えている 道の駅でガソリンスタンドを併設するということは難しいので、民間の活力に期待したい
27	道の駅をつくるにあたり、さらに市民の憩いの場所として、お風呂に入れる場所が欲しい	植物園のリニューアルが今年の11月オープンを見込みながら動いている 植物園の中に温浴施設が出来ることになっている 差別化という意味からも、道の駅での整備は予定していない

No	質問・意見	回答
28	ただ物を売るための施設ではなく、家族で楽しめる、行きたくなる施設を作って欲しい EV充電設備、ガソリンスタンド、ベットの連れた来訪者のニーズ、防災機能など、総合的な展開で、少し費用がかかっても計画を考えるべき	ご意見として承る
29	商工会では水戸農業高校と連携して、ハーブを使った商品開発に取り組んでいる こういった特産品を販売するのが道の駅だと思う 未来の子供たちが、我が街に、我がふるさとには、こんな良いものがあるよと、自慢出来るような施設ができることを大いに期待している	ご意見として承る
30	倭文織を道の駅と絡めて、体験設備や販売コーナーを含めて、入れていただきたい 福島県昭和村のからむし織の里は、先進的な事例として活用できると思う 他にはない、どこにもない、そういうものとして取り入れて欲しい	倭文織については、提案にあった福島県昭和村の事例について、調査・研究をしっかりと行ってきたい
31	道の駅で那珂市が輩出した偉人の記念館とまではいかないにしても、そういったコーナーを設けることも検討して欲しい	ご意見として承る
32	白鳥、それから色々な古墳、縄文時代の出土品などをもっとアピールできるような施設があると良いのではないか	これまでの質問の中にも、倭文織であったり、那珂市の偉人の話であったり、白鳥の話があった地域の資源というものを大切に、道の駅でも伝えていけるように検討していきたい
33	バードラインの4車線化の計画もあるようだが、118号の4車線化についても、道の駅の立地条件を向上させるために促進を図るべきである	118号の4車線化については、バードラインの交差点までは4車線化が決定している インター線から118号までの区間についても4車線化を図っていく 周辺の幹線道路が4車線化され、交通量も増えてくることが見込まれるので、これからの立地条件というものは更に良くなっていくものと考えている
34	那珂市には企業を誘致しなければ、雇用を生まないと思う 雇用を生むために、この道の駅を核にして、周辺の開発を将来どのように考えているのか？	那珂の知名度を上げて、インターチェンジ周辺もいずれ開発したいと思っている 那珂に来て仕事がしたい、那珂に工場をつくりたい、そういうイメージをどうやってつくっていくかということを考えた時に、大きなシンボルとして「道の駅」つくりたいと考えている
その他		
35	説明会の周知は、回覧板などで行ったのか？	説明会の開催告知については、広報なかやSNS等を通じて周知を行った
36	税金の使われ方について、説明責任が果たされているのか？	限られた予算の中で、毎年度、福祉関係、教育関係の予算は膨らんでおり、このまま何もしないでいった場合に、将来的に大きな問題になると考えている しっかりと経済を回して、収入を稼ぐ、それを福祉に回すということをやっていないと、先々、本当に厳しくなっていく 人口もこれから減少していく中で、産業を誘致して、しっかりと経済を回していくということが何よりも必要なことだと考えている
37-38	事業推進にあたって、市民の意見が反映されているのか？ 住民投票の実施を提案したい	市民説明会とあわせて、パブリックコメントの実施によって、より広いかたちで皆さんの意見を聞く手段も揃えている 住民投票については、議会と調整しながら進めなければならない 市民の代表である議員の皆様と議論した上で、決めていくことが大事だと考えている
39	道の駅にお金をかけるのではなく、那珂市に住んでもらう人を増やす施策を進めるべき	ご意見として承る